

# B. 笑顔で対話

令和5年12月

羽島市教育委員会 教育政策課

## 自分たちで創り上げ、進歩し続ける ～中央中体育祭～



9月28日（木）にスローガン「輝蹟（きせき）～自分たちで創り上げ、進歩し続ける中央中～」のもと、生徒会が中心となって企画運営する体育祭がありました。

体育祭を終えた生徒会執行部は、「仲間に自分の思いを伝えるためには、どうしたらよいかを考えることを通して、自分たちで創り上げる難しさと仲間が応えてくれる楽しさを学んだ」と語っていました。

相手の状況に応じた声のかけ方やサポートの仕方を学べたことは、貴重な経験となりました。

## 笑顔いっぱいの交流会 ～羽島特別支援学校との交流 正木小～

10月16日（月）と10月23日（月）に正木小学校の4年生が、羽島特別支援学校の児童と交流会を行いました。特別支援学校の体育館で一緒にゲームをして遊んだり、歌を歌ったりして交流を深めました。

参加した児童は「特別支援学校のみんなと一緒にゲームができて楽しかった」や「特別支援学校のみんなも楽しそうに参加していて嬉しかった」と感想を話してくれました。笑顔あふれる素敵な交流会になりました。



## 保育園の仲間に、楽しく遊んでほしいな ～堀津保育園の年長組との交流にむけて 堀津小～

11月16日（木）堀津小学校の1年生は、生活科「あきとあそぼう」で堀津保育園の年長組の子と遊ぶための準備を行いました。保育園の仲間と一緒に楽しく遊べるように、秋の木の実を用いたおもちゃや遊び方の工夫をすることができました。

参観した保育園の先生方も、堀津保育園を卒園した子たちが仲間のことを考えて行動する姿に成長を感じていました。



## 中央小地域ふれあい夢広場について ～地域の魅力を未来の羽島に～



11月16日(木)から18日(土)までの期間、中央小学校では、地域の魅力を知るために、地域で活躍されている人や環境と触れ合う「地域ふれあい夢広場」を実施しました。3年生は、絵手紙クラブで活躍されている方から、筆や絵の具の使い方を学び、絵手紙作りに挑戦しました。

参加した児童は、「私は絵を描くことが苦手でとても不安に思っていました。でも、絵手紙クラブの方に筆の使い方を教えてもらって描くと、とても上手に描くことができました。なんだか絵を描くことに自信がもてるようになりました」と振り返っていました。地域の方との交流が羽島市の未来につながっていくことを願っています。

## 広がる！仲間とのつながり ～中島中・桑原学園合同部活動～

中島中学校と桑原学園の女子バレーボール部では、合同チームで中体連の大会に参加しました。また、休日の活動は「南部女子バレーボールクラブ」として、合同で練習に励んでいます。

練習に参加している生徒は、「一緒に練習することで、学校に関係なく交流が生まれ、仲間関係も広がった」と嬉しそうに話してくれました。

今後も一緒にプレーする喜びや試合ができる充実感を味わってほしいと思います。



## お知らせ【教育委員会事務局より】

11月6日(月)に「第5回新しい時代の学校構想検討委員会」を開催し、今後の教育活動のあり方等について協議しました。

会議の際の資料や審議内容は、羽島市のHP

(<https://www.city.hashima.lg.jp/2395.html>) で公開しております。



羽島市教育委員会 〒501-6292 羽島市竹鼻町55番地

TEL (058) 393-4611 FAX (058) 391-0906

Email : kyoiku@city.hashima.lg.jp